

GREEN RANGER NEWS

2021年4月号

Vol.326



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

■2月の活動報告

スノーシューで歩く会・メイプルシロップ採取 2月28日(日)

昨年は猛吹雪。今年は晴天・風も無し・雪は少なめ・堅雪、素晴らしいコンディション。早速ノコギリ片手に彩遊の森へ。マンサクがもう咲いている。呼ばれて見せられた、なにこれ？。オオカメノキ(ムシカリ)の花芽(中央)と葉芽(両端)だと言う。なんとも可愛い。散策しているうちに何か物足りなさを感じ始めた。動物の足跡が無いのである。例年はふんだんにあるノウサギの足跡や、丸い美味しそうな糞がひとつも無いのはどうしてだろうか。



午後、アナグマとリスの森へ。コブシの大木の花芽に魅せられる。咲いたら本当に素晴らしいのです、是非楽しみにして下さい。木々の芽は日々膨らみ始め、草花も雪消えと同時に咲き始めます。その頃、今回少ししか採れていなかったメイプルシロップにも期待したいと思います。久しぶりにマスク越したが、青空に向かって深呼吸、贅沢な1日でした。参加者:3名

■3月の活動報告

【定例会】3月14日(日) 8m以上の樹木調査、樹木名板取り替え

雨風も治まり、穏やかだと南蔵王七ヶ宿線を走る。だが、作業小屋への道に入ると、木々がうねり凄まじい風の音が襲ってきた。これが蔵王下しか。そんな中、植林したイタヤカエデとカジカエデのシロップを採ってきてくれた。カジの方がえらく多いような、雨が混入か、味見はイタヤに集中。ほんのり木の香りと甘さが口に広がる。昼に飲もうと両方ヤカンに入れ、少しは水分が飛ぶだろうとストーブにかける。予定の「樹木名板取り替え」は中止とし、25周年報告書を参考に35周年記念誌発行へのおおよその企画を話し合った。その後、動物の生態観察した動画から年間の出没場所・時刻などのグラフ化した試案を披露してもらい、個別に編集したツキノワグマとタヌキの動画も鑑賞、改めて動作に見入る。メイプルシロップの紅茶で昼食。風も止み「樹木調査」にリスの森へ。4mの竹竿を基本として植林木(ヤマハンノキは除く)の高さを、メジャーで幹回りを計測。余裕の8m超えが昨年より多くなっており、予定の3分の2程でタイムアップ。葉が茂る前に他の森の計測もしなければと、ちょっと焦った。ヤマハンノキの倒木が目立つ。つい、「ありがとう」と頭を下げてしまう。参加者:8名



■3月の活動報告

【森の教室】3月28日(日) 8m以上の樹木調査、樹木名板取り替え、マンサク観察

樹木調査は全森を済ませてくれていたのでなしに。早くしないと降ってくるからと急かすのだが、動ぜず。彩遊の森の観察路入口から新しい樹木名板に取り替えて行く。木々も軽くなって気にならないかもなどと思いながら出口まで行くと、残った名板がある、再度森に入る。動物観察班はそこから別行動。冬季に作業小屋に設置していたカメラがとらえたキツネ・タヌキ・ネコの話、ウサギが全然撮れなかったのはなぜか、今月のM6.9の地震でアナグマも引っ越したんではないかなどとと言いながらその穴に向けてカメラを設置した。こどもも撮れたらいいなと、他の森にも設置。他の樹々にのしかかっていたり邪魔していたヤマハンノキの倒木、この2週の間すっかり処理してくれていた。今年は特に倒木が多くなったように思う。パイオニア的植物の寿命は短いらしいが、育ての親が亡くなるようで寂しい。日陰から解放され、その跡を緑にしてくれるのはどの子誰だろうか？ 午後はやはり雨。原稿も集まっているらしく、大変だと言いながら35周年記念誌発行への話し合いをする。参加者:6名



樹木名板取り替え



スハマソウ、カタクリ、ヤドリギ

■4月の活動案内

[定例会]

集合時間 4月11日(日) 10時
集合場所 作業小屋
内 容 8m以上の樹木調査、樹木名板取り替え

[森の教室]

集合時間 4月25日(日) 10時
集合場所 作業小屋
内 容 スミレ類、オオヤマザクラが見頃 お花見(散策)

■5月の活動案内

[定例会]

集合時間 5月9日(日) 10時
集合場所 作業小屋
内 容 植物観察 山菜採り

[森の教室]

集合時間 5月23日(日) 10時
集合場所 作業小屋
内 容 樹木名板作りと取り替え、ヤマツツジ・ウワミズザクラ観察